

## 【創世記第32章】

「すると、ある人が夜明けまで彼と格闘した。～

私はあなたを去らせません。私を祝福してくださらないければ。～あなたの名は、もうヤコブとは呼ばれない。イスラエルだ。あなたは神と戦い、人と戦って、勝ったからだ。」  
(創世記32：24、26、28)

ずる賢く自分勝手なヤコブは多くの苦難を通して変えられてゆきました。妻を子供、財産も多くなり、いよいよ父の故郷へ帰るといふ時に、使者を送り兄エサウの様子をうかがわせるのですが、使者が「あの方もあなたを迎えに400人を引き連れて、、、」と聞いた時に、ヤコブは「非常に恐れ」たのです。その為にヤコブらしい工夫をしましたが、それでも恐れは消えません。10節には「私はあなたがしもべに賜ったすべての恵みとまことを受けるに足りない者です。私は自分の杖一本だけを持って、このヨルダンを渡りましたが～」と以前に比べて随分へりくだってきていますが、、、

真の平安は罪を悔い改める事、主が共におられる、主は勝利の主であると信じる事だと学んでいます。今まで多くの苦難を経て、それなりの悔い改めはしてきたかもしれませんが、いざエサウに会う時に恐れた彼に必要な事は何だったのでしょうか。それは神の平安と勝利でした。真の和解がない人生には平安はありません。私達が神様のみ前に悔い改め、真の平安を得ない限り、どんなに物質的な物が揃っていても、本当の幸福はあり得ません。

今や2つの宿営を持っているヤコブは、家畜を3つの群れにを分けてエサウの為に贈り物とし、妻や女奴隷、11人の子達をヤボクの渡しを渡らせて、彼は一人残って「ある人」…というのは神の使いでしょう…と格闘しているのです。というのは祈りの格闘です。今までの自分勝手なエゴの強いヤコブが、本気で神のみ前に祈りました。ヤコブのものつがい外れました。そこでその人が言った言葉が上の赤い文字(前半)です。兄にあっても恐れぬ強さ、和解、神からの圧倒的な油注ぎが必要だったのです。

私たちの人生にも、そのような時があります。自分の力とか努力や状況ではどう仕様もない時、真剣に神に祈りましょう！神の祝福を求めましょう。まず神との和解をすべきです。神のみ前に犯している罪があるなら、一つ一つ悔い改めて、そして神の恵みと祝福を受けましょう。ヤコブは真剣に格闘して祈り、その祝福を勝ち得たので、最早ヤコブではなく、「イスラエル」と変えられました。イスラエルというのは、「神が勝たれた」とか、「神の王子」を意味しています。「押しよける者」ヤコブが神の器「イスラエル」と変えられる祈りでした。古い自我から解放され、自由な神の器と変えられた時、最早恐れはなく、エサウとも会うことが出来、その後のヤコブの家系からイエス・キリストが誕生され、また国家の名前になったほどで、その祝福は全世界に及んでいます。私達の信仰が成長するために、この「ヤボクの渡し」の経験を通して、本当の神の器と変えられてゆきます。それは「神のことばに聞き従う」人生です。私達もその祝福を携えて全世界に、神の遣わされる所に出てゆきましょう！これが最も祝福された、勝利と平安な人生です。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the **F**irstborn who are **R**egistered in **H**eaven

主任牧師：イエス・キリスト

牧師：ダニエル大重

## SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2015.1.4 No.822

新年のみ言葉

あなたとともにいるこの民はみな、  
主のみわざを見るであろう。  
わたしがあなたとともに行うことは  
恐るべきものである。

出エジプト記 34：10



主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://tlccfrh.astone-blog.jp/>

